二〇二一年八月二二日

新涼はフローリングの足裏より　はく子

山上は蜻蛉天国手に肩に　はく子

立山の雄姿連なる星月夜　わかば

落梨は無料と無人販売所　素秀

高原に寝惜しむ旅の星月夜　わかば

茄子の馬部屋に残して入院す　なつき

急患のなきひと時の法師蝉　むべ

新幹線左右に近江の早稲稔る　よう子

風さやかスイッチバック峡の駅　素秀

蟻地獄存問しつつ雨宿り　よう子

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年八月二二日